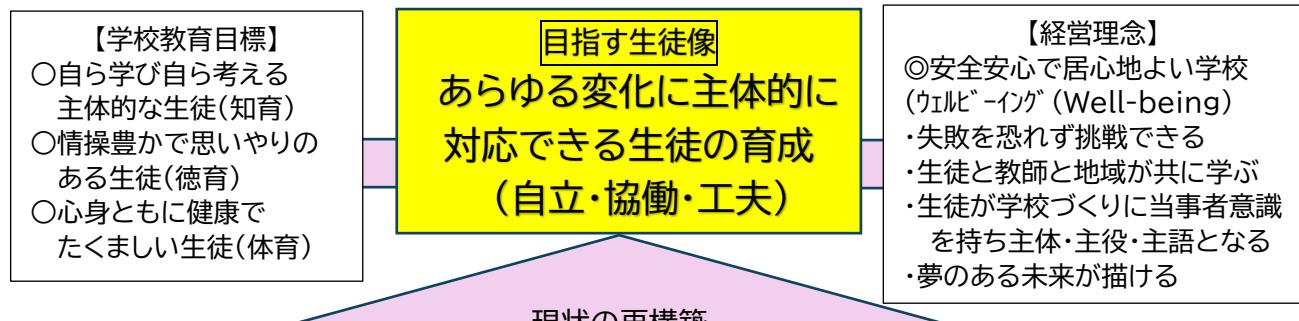


「令和7年度 潮平中学校グランドデザイン」



生徒指導			学力向上(スクールプラン)			学びの相似形	
	生徒像	取り組み(★は生徒指導提要)		生徒像	取り組み	教職員像	取り組み
自立	○自己を理解し最適解の行動ができる ○自分の将来像を持っている	・メタ認知の場を設定 ・保護者面談の充実 ★自己存在感の感受 ★自己決定の場の提供	知識 技能	○他者の意見や記述文書から要点を抑えて内容を理解できる生徒(読解力)	・学習アプリの活用 ・思考の時間確保 ・要約の場の設定	○学習指導要領を含む国・県・地区的施策を読み理解する。	・研修参加 ・NITS の活用 ・潮平 G サイトでの情報共有
協働	○多様な個性を理解し他者を尊重できる、 ○自らの意見を持ち、民主的な対話ができる。	・ペア、グループ学習で多様な傾聴の手法の実践 ・自治的行事の実施 ★共感的な人間関係 ★安全・安心な風土の醸成	思考力 判断力 表現力	○多様な見方・考え方ができ、根拠をもって自らの意見が言える生徒	・ペア、グループ活動の充実 ・思考ツールの活用 ・多様な交流の手法の実施	○自らの指導を振り返り課題を見出し改善し、その取り組みを発信できる。	・チャットやアプリ AI を活用した多様な意見の収集 ・批判的思考(リフレンジング)の実践
工夫	○現状に課題を持ち常識にとらわれない ○より良い方法を考え、目標を持ち挑戦する	・課題発見能力の育成 ・粘り強い取組みの実施 ・自己決定の場の設定 ・生徒にゆだねる各種取り組み	学びに向かう人間性	○他者との協働ができる、なおかつ自らの目標を持ち主体的に学習する生徒	・特別活動、生徒会、部活動等の自治的活動の推進 ・計画的な短期、長期目標の設定	○多様な指導の在り方をもとに、自らの指導をたえず改善していく	・挑戦的な授業改善の推進 ・評価システムの充実と活用

- ◆校内研修テーマ『学びの相似形を意識した授業改善・業務改善』～ICT活用を基盤とした実践的な取り組み～
- ◆学力向上推進の目標:「自立した学習者の育成」(R7徹底項目:学習意欲を引き出す環境づくりの工夫と共有)

【学校経営目標】

生徒・職員の個性を尊重し、お互いが目標を持ち主体的に学び、支援しあえる学校

生徒指導の定義 (R4 生徒指導提要より) 生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことである。	【自立した学習者】の育成 (R7 沖縄県学力推進施策(案)) ★授業改善4つの取り組み 1・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の充実 2・「学習基盤としての ICT」の活用 3・「指導と評価の一体化」の実現 4・「自学学習力」を育む取組の充実	沖縄県教育委員会の目指す教員像 ○人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情のある教員 ○幅広い教養と教育に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある教員 ○沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた教員 ○豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った教員
●生徒指の導実践上の視点・自立した学習者を支える4つのポイント ○自己存在感の感受 ○共感的な人間関係 ○自己決定の場の提供 ○安全・安心な風土の醸成		

●教育基本法● (教育の目的)	●沖縄県教育の目標● (沖縄県教育振興基本計画 R4～R13)	●糸満市生徒像● (教育大綱 R3～R7)
教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。	自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ生徒を育成する。	生徒一人一人の個性を伸長し、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を養い、自ら学び、自ら考え、行動できるなど「生きる力」の育成